

CAFE BALCONY CAFE

カフェ・バルコニーの家

通信

平成 27 年 1 月号 (第 56 号)

CAFE BALCONY CAFE BALCONY CAFE BALCONY

新年あけましておめでとうございます。
短い冬休みになりますがいかがお過ごしでしょうか。
実家に帰省するかたも初詣に参拝するかたも、大晦日
新年を楽しくお過ごしでしょうか。
冷え込みが大変厳しい毎日ですので体調に気をつけて
2015 年も頑張りましょう。
カフェ・バルコニー通信 1 月号をお届けします。



新春の書

「カフェ・バルコニーの家」の活動紹介



新年のご挨拶

スタッフ・メンバー一同を代表して新年のご挨拶を一言申し上げます。

皆様あけましておめでとうございます。

昨年は多くのご支援・ご援助を賜り厚くお礼申し上げます。

お蔭様で、磯辺 3 丁目から真砂 4 丁目に移転しました地域活動支援センター「地域の茶の間」は地域の方にも理解され、受け入れていただき、円滑な活動が実現できています。また、「地域の茶の間」の後の磯辺 3 丁目にスタートしました就労継続支援 B 型事業「カフェバルコニー」も 2 年目に入り、本年、利用者の中から 2 名の就労者が生まれ、着実に成果を挙げつつあります。

本年 5 月には、2 事業をスタートして 3 年目に入ります。今年はさらに相談支援サービス事業をスタートし、障害者支援のサービス充実を図っていく所存です。

理事長以下、理事、スタッフ、ボランティア全員が力を合わせて計画実現に邁進して参りますので、昨年に増してご支援・ご援助賜りますようお願い申し上げます。

事務局長 石川恵一



11月の誕生日会

誕生日を迎えて、誕生日会に参加する事になった。
参加するにあたって、場所が2か所に分かれていることに驚いた。

2か所目で行われた誕生日会で、11月が誕生日の3人が植木の誕生日プレゼントを貰い
バースデーケーキを食べたが、そのケーキが、毎月ごとに出てくるタイプではなく
生クリームタイプだったので、ほっとした。
終盤になって歌を歌ったので心が明るくなった。
誕生日会に参加してよかったなと思った。 K. T.

11月の誕生日のメンバーは、3人でした。
美味しい食事とケーキで皆さんと楽しい時間を過ごさせて頂きました。
とても良かったです。 S. S.

カフェバルコニーと地域の茶の間の皆さんにお祝いのメッセージを頂けて嬉しかったです。色んな方に今後の生活など色々アドバイスを頂きました。私なりに少しずつ頑張らして病気を克服して努力していきたいと考えています。

いつも本当にありがとうございます。 I. T.





鍋パーティーの2回目を開催しました

12月16日、地域の茶の間で鍋パーティーを開催しました。以下参加者のインタビューです。

●作った感想。

○ミルフィーユ鍋（豚+白菜）は綺麗で美味しそうだった。 K. M.

○野菜や肉を切ると肉と白菜を並べたのが楽しかった。 M. K.

○楽しかった S. S.

○人参の皮のむき方が勉強になった。 H. A.



●食べた感想

○肉のうまみと野菜のうまみがうまくマッチングしていて、ユズぽん酢超美味しい。ひとりで鍋を食べるよりみんなで食べる方が美味しい K. M.

○ミルフィーユ鍋は見たことはあったけれど、食べたことはなかったので、楽しかった。 H. H.

○ギリギリ参加出来て良かったです。 T. I.

○何とも言えず美味しい。新鮮な無農薬の白菜の提供ありがとう、おいしかった 石川恵一





スタッフ紹介

新年 おめでとうございます。私は、昨年9月1日から「カフェ・バルコニーの家」に会計・経理の担当として着任しました山内チカ子と申します。4カ月があつと言う間に過ぎてしまいました。色々分からない事も多く有りましたが、施設ご利用のメンバーの皆様のお顔とお名前を覚えるのに一生懸命だったと思う、この施設で最高齢の自分がそこに居ました。毎日、皆様から「おはようございます」と元気なお顔をかけて頂けることが、私の生きがいになっています。新しい年を迎え心を引き締めながらも、メンバーの皆様と共に明るく・和やかな過ごし方を工夫しながら、福祉のさらなる進展に老骨に鞭打ち努力する所存ですので、どうかよろしく願いいたします。



メンバーの寄稿文と写真

私たちの活動を写真で紹介します。



上の写真はみんなで作ったシナモンロールで熱々で美味でした。



上のスコーンは甘さ控えめでクッキーのような触感で美味しく頂きました。

抒情のパトス

ある空砲、つまり弾の入っていない観念の銃の引き金を引くと、実に暗い音とともに世界はガラス状に崩れ自分自身に落ちて来る。何時の間にか明るい風景のなかにいる自分自身の悲しい姿に気付く。そこで母の嘲笑的な顔が見えるのである。

否定の外に置かれ、肯定のなかにも入れない、暗い出来事を自身体験して了解を越えて来た者の曰く、美学、羞恥、カミング・ハーツ。頑なな人格が感情と矛盾した言葉によって裂かれようとする時、不図、沈黙によって耐えられれば、きつと自己解体する日もなかりうと、独り高をくくっている状況があるのだ。

それはどう仕様もない、時間と時間との潰れた結節点で、しかも空間と空間との屈折した直接性であろうとする。無限に対しての異質な思惟のある始まりでしょう。前者が了解であるとすれば、後者は表現であると、密かに考えているのですが、いずれにせよ、ぼくたちの共同存在はそういう拡がりの中に於いて、類と個を顧慮しつつ、形式を創出せざるをえないのです。

柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺

正岡子規

空間は空間によって即自存在の反映、授乳の如く安心して実に明朗に、時空を超えて、兄弟たちによって祝福を受けているのです。

十二月五日

T · N

君への約束

明日海へ出かけよう。
僕たちの明日を見に行こう。

今日も明日も

その先も

一緒に生きよう。

一枚、また一枚と

花びらが散ってゆくのなら

君のために

花びらを

木に戻そう。

例え全部の花びらが

落ちても

一緒にいよう。

君は

他の世界を

見るべきではない

僕だけを見てほしい。

約束しよう。

君だけが必要なんだと。

愛しているのは君だけなんだと。

明日一緒に海へ出かけよう。

E · I

とあるヒーローに捧げる

彼女は足元で暗闇を見てきた

でもいつでも光に向かおうとする

その一途さ

その気高さ

彼女が前をいつも向いているのは

後ろに進めないのは

その瞳に映っている

彼女の力となっている人という

私は彼女になれないけれど

彼女の力強さが

生きていく

一部に

なっていけたらいいなと

いつでも思う

敬礼

M · K



カフェ・バルコニーの家からのお知らせ



1. カフェ・バルコニーの家では、毎月第1土曜日 10:30~13:30、家族会を開催しています。気軽にお問い合わせください。
2. カフェ・バルコニーの家では、NPO 法人「カフェ・バルコニーの家」の理念に賛同頂き、ご支援下さる**賛助会員**を募っています。**入会金 2.000 円 年会費 3.000 円**（1口）です。賛助会員には通信を毎月お送りし、「カフェ・バルコニーの家」の諸行事にご招待いたします。
3. 「カフェ・バルコニーの家」の活動を支援して下さる**応援団**を募集しています。年会費は1,000円からです。(郵便振替 00180-2-322417 NPO 法人カフェ・バルコニー の家) をお願いいたします。振込用紙は各郵便局にあります。
4. 自立支援医療を受けている人は、社会的自立のために、当会の活動に体験参加できます。
5. 当会で2年間調理、接客訓練を受けた方は、**国家資格・調理師試験の受験資格**が得られます。(調理実習が免除されます)
6. ボランティアさんを募集しています。レストラン調理(補助)・和菓子作り・パソコン・経理・音楽・スポーツなど、いろいろな活動のボランティアさんを募集しています。メンバーと一緒に楽しもうという気持ちがあれば、誰でも出来ます。まずは、気軽に体験してみてください。(問合せは**043-377-3502** 藪下、**043-441-3193** 石川まで)
7. ご支援ありがとうございました。加瀬美子様(洗車道具一式)、出本順子様(にんじん 40 本)、石川恵一様(冬瓜 2 個)、伊藤様(冬瓜 1 個、味噌 1 個)、大塚美代子様(3,000 円)、佐々木博昭様(12,200 円)

<カフェ・バルコニーの家 通信 第56号 1月号>

- 発行場所 : NPO 法人カフェ・バルコニーの家
千葉県美浜区磯辺 3-5-7
電話&FAX 043-377-3502
- 発行者 : 藪下 敦子
- 編集長 : 石川 恵一
- イラスト : 堀越 雅子
- HP : <http://www.cafe-balcony.jp>
- E-mail : cafe-balcony.mihama@cnc.jp

